

事業所名 グループホーム びっちゅう
(クリックすると事業者の情報にリンクします)

日付 平成20年 3月31日

評価機関名 ㈱東京リーガルマインド
(クリックすると評価機関の情報にリンクします)

評価調査員
A:現職 社会福祉法人生活指導員
資格・経験 身体障害者職業生活指導員、社会福祉主事、ホームヘルパー2級、介護支援専門員、難病患者等ホームヘルパー
B:現職 特別養護老人ホーム勤務
資格・経験 介護福祉士、社会福祉主事、介護支援専門員、難病患者等ホームヘルパー

自主評価結果を見る (事業者の自主評価結果にリンクします)

評価項目の内容を見る (評価項目にリンクします)

事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)
(事業者情報のうち評価結果に対する事業者コメントにリンクします)

外部評価の結果

講評

全体を通して特に良いと思われる点など(記述)

○県境に近い丘の上にあり、自然に恵まれた環境の中、入居者は種やかでゆったりとしたホーム生活を送っている。

○医療法人が運営しており、認知症に対する専門的な知識に基づいた介護を受けられ、入居者・家族共に安心が得られる。

○ホームの隣には地域の集会所があり、地元の皆さんとの協力・支援体制が築かれており、地域に開かれたホームとして地域の方々と交流を深めている。

○入居者の身体機能の維持には留意しており、健康記録表を作って「生活リハビリ」の項目を設け、健康維持に取り組んでいる。入居者一人ひとりに寄り添い、一人ひとりと向き合ったケアに取り組んでおり、表情も明るく、生き生きとしていた。

○食堂には床暖房を施し、台所も電磁加熱器を設置し、入居者が安心して調理や配膳に参加できるようにしている。

特に改善の余地があると思われる点(記述)

○会議・ミーティングは、必要に応じて随時行われている。チームケアを行う上でも、目標や内容を定めて定期的な会議を開催し、より一層チームケアの充実を図り、会議については、議事録を残し、その内容や表記に具体性を持たせ、ケアサービスの向上に繋げていけることを期待する。

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有	○	
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か(記述)		
	<p>○入居者の経歴・能力を把握し、本人の能力・意欲を活かしながらこれまでの生活スタイルを継続できるよう、個人の主体性を大切にしながら支援している。</p> <p>○ホームを「第二の我が家」とし、共に生きる喜びや生きる意欲を高め、寄り添いながら一緒に歩むホーム生活の実現を目指している。</p> <p>○地域交流で住民との触れ合いを進め、地域での催し物やレクリエーションに積極的に参加し、入居者の社会参加を促している。</p> <p>○日常生活を生活リハビリとして捉え、種やかで喜びの味わえる生活を支援して認知症の進行を緩和し、安定した生活が維持できるように努力している。</p>		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り	○	
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり	○	
4	建物の外回りや空間の活用	○	
5	場所間違い等の防止策	○	
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か(記述)		
	<p>○入居者のその人らしさを大切にし、一人ひとりの思いが活かせ、落ち着いたホーム生活が送れるように支援している。</p> <p>○職員はゆったりと落ち着いた態度で入居者に接し、入居者に精神的な安定をもたらし、種やかな生活を営んでもらえるように努めている。</p> <p>○入居者一人ひとりの個性や相性の把握に努め、トラブルの発生を未然に防ぎ、入居者が安心して暮らせるように取り組んでいる。</p>		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映	○	
7	個別の記録	○	
8	確実な申し送り・情報伝達	○	
9	チームケアのための会議		○
10	入居者一人ひとりの尊重	○	
11	職員の種やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ	○	
12	入居者のベースの尊重	○	
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援	○	
14	一人で行えることへの配慮	○	
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫	○	
16	食事を楽しむことのできる支援	○	
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援	○	

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮	○	
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援	○	
20	プライドを大切にされた整容の支援	○	
21	安眠の支援	○	
22	金銭管理と買い物の支援	○	
23	認知症の人の夜診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保	○	
24	身体機能の維持	○	
25	トラブルへの対応	○	
26	口腔内の清潔保持	○	
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応	○	
28	服薬の支援	○	
29	ホームに閉じこもらない生活の支援	○	
30	家族の訪問支援	○	
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か(記述)		
	<p>○入居者のこれまでの生活歴・経験・能力の把握に努め、今までと変わらぬ生活を続けてもらえるように心がけ、入居者の思いを尊重した生活が営めるように取り組んでいる。</p> <p>○入居者本人の自己決定を尊重し、自信回復や自由に感情表現できる雰囲気作りを行い、その時々本人の気持ちを尊重した支援を心がけている。</p> <p>○入居者個人に関する事は事務所内で相談し、他の入居者の前で話さないように気を付け、個人のプライバシーを侵害することがないように徹底している。</p>		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映	○	
32	災害対策	○	
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ	○	
34	家族への日常の様子に関する情報提供	○	
35	運営推進会議を活かした取組	○	
36	地域との連携と交流促進	○	
37	ホーム機能の地域への還元	○	
記述項目	サービスの質の向上に向け日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か(記述)		
	<p>○職員の外部研修を積極的に支援している。その内容を職員全員で共有できるよう、研修後は内容を報告して情報共有を図り、共通認識を深めている。</p> <p>○災害対策には特に留意しており、事務所に消防署直通の火災通報装置を設置し、避難訓練は、年2回、消防署・地元消防団も参加して行えるようにしている。</p> <p>○些細な事故も事故報告書に記録し、その原因や対策について検討し、職員全体で再発防止に努めている。</p>		